

2019年5月13日

糸島市・九州大学・住友理工 3者協定・第2期開始

～2021年度のモデル事業開始に向けて～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は4月25日、糸島市役所（福岡県）にて糸島市および国立大学法人九州大学と、地域包括ケアシステムをはじめとする「健康」「医療」「介護」事業における連携協力を目的に締結した3者間協定につき、第2期（2019年4月～2022年3月）を継続実施することを発表しました。第1期（2015年12月～2019年3月）の成果を、「フレイル^{※1}の早期発見、フレイル予防、生活習慣改善に向けた取り組み」につなげ、事業化および社会実装することを目的として発展させていきます。



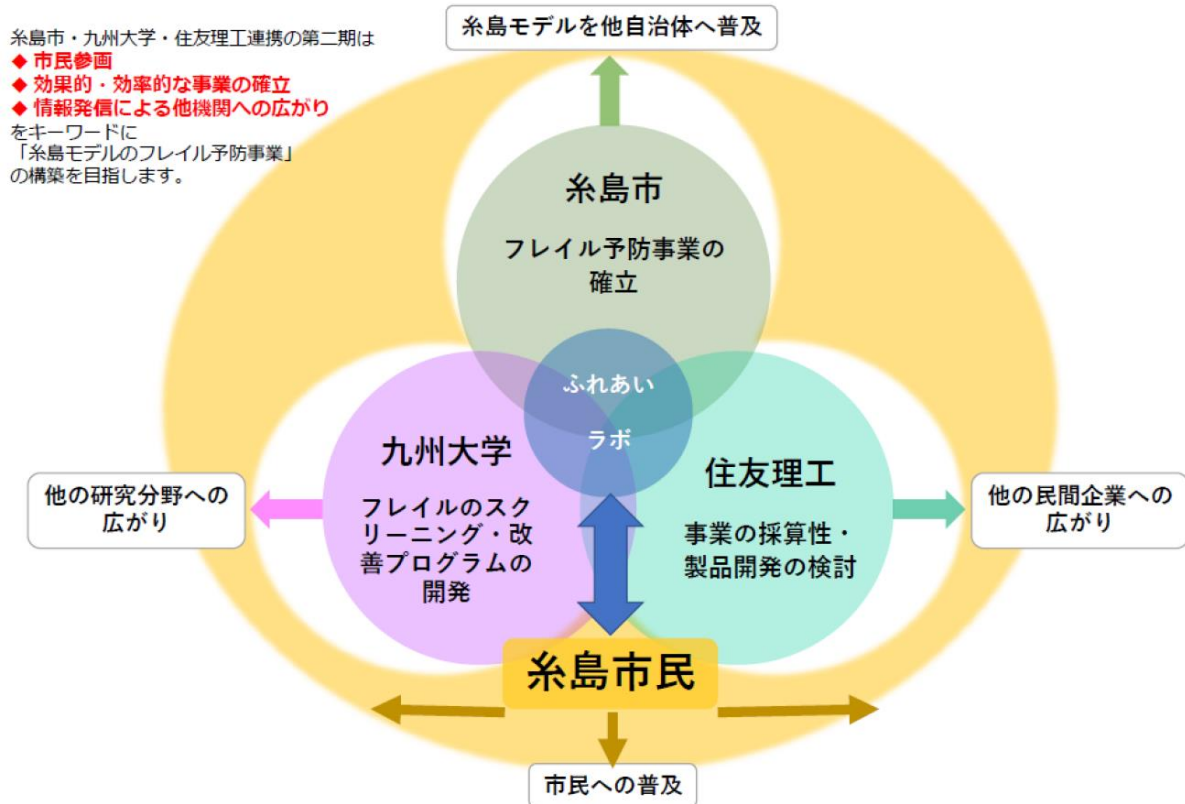
（右から）九州大学 大戸副理事、糸島市 月形市長、住友理工執行役員 森永

これまで当社は、「床ずれ防止マットレス」（九州大学医学研究院・古江増隆教授と共同研究）や「歩行アシストスーツ」（同工学研究院・山本元司教授と共同研究）の実用化に向け、九州大学ヘルスケアシステム LABO 糸島（愛称：ふれあいラボ）を実証実験の場として活動を推進。その成果として、2017年に床ずれ防止マットレス「SR アクティブマットレス 体圧ブンさん」を発売しました。

また、同大 キャンパスライフ・健康支援センター・熊谷秋三教授や芸術工学研究院・都甲康至教授をはじめ、多くの研究者を迎えて活動分野を拡大。2017年度に実施した「糸島フレイル疫学研究」には、1600名を超える糸島市民の方々に参画いただきました。さらに、2018年10月からは、ふれあいラボがある糸島市健康福祉センター「ふれあい」内で「フレイルチェック事業（共同研究事業）」を行っています。

【第2期の概要】

2021年度に、糸島市において他の自治体への展開が可能なモデル事業を開始し、産学官連携による新たなヘルスケア事業の創出を目指します。



【4月25日の会見時コメント】

糸島市 月形祐二市長：フレイル予防について、最近では国でも介護予防の取り組みとして積極的に取り組んでおり、その先駆的な役割を私どもが果たしていきたい、そして、他の自治体の範となるよう取り組んでいきたいと思っております。

九州大学 大戸茂弘副理事：産学官連携について、フレイル予防事業の糸島モデルの構築を目指していきます。

住友理工執行役員 森永聡：ブランド糸島確立、九州大学国際村構想^{※2}など新たな展開を進める糸島市。また、九州大学は今春に糸島市との連携事業であるサイエンスヴィレッジ構想^{※3}に関する発表を行いました。ここ糸島の地は、民間企業にとって新たなヘルスケア産業創出の場となる可能性があり、2021年度の「フレイル予防事業開始」に向けて、多くの企業に参画いただけるよう働きかけていきたいと考えています。

3者は「ヘルスケア新事業創出」に向けて、活動の拠点となる「ふれあいラボ」における活動を進めます。併せて、新たな産業創出の拠点として期待されるサイエンスヴィレッジ構想の活動拠点およびリビングラボ^{※4}構築に取り組みたいと考えています。

※1. 「フレイル」とは加齢とともに身体機能や認知機能が低下し体が弱り始めた状態のことです。

※2. 九州大学国際村構想

糸島市に九州大学の留学生や外国人研究者を呼び込み、地域の国際化、国際交流、国際教育、国際理解などの促進につなげるために策定した構想。留学生や外国人研究者の居住・宿泊施設や生活利便施設、文化・交流施設などの立地導入に向けた必要事項を明らかにすることを目的にしています。

※3. サイエンスヴィレッジ構想

糸島市は、九州大学の基礎研究（知的資源）を実用化・事業化に結び付ける産学官の研究拠点を構築する「九州大学サイエンスパーク-糸島市-」構想を策定するため、九州大学と組織対応型連携研究を行っています。その構想の中で、大学と企業と地域が一体となった研究拠点を「糸島サイエンスヴィレッジ」と名付け、その実現に向け取り組んでいます。

※4. リビングラボ

新しい技術やサービスの開発において、ユーザーや市民が参加する活動やその活動拠点のこと。市民からニーズをヒアリングしたり、モニターとして開発中の製品などを使ってもらったりして、改良のアイデアを出してもらうこともあります。

<協定内容に関するお問い合わせ>

・住友理工株式会社 新事業開発センター
(〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地)
TEL : 0568-77-8526

・九州大学ヘルスケアシステム LABO 糸島
(〒912-1213 福岡県糸島市初1番地 健康福祉センター「ふれあい」内)
TEL : 092-327-8181

以上

----- 住友理工について -----

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制振音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、世界中の人々に安全・快適・環境を提供する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>